

「大ツキ軽トラ市」

盛大に開催

ACTIVE KUMIAI

10月22日に大月駅周辺の国道20号を歩行者天国にして60台以上の軽トラが集まり、取れたて野菜や大月にちなんだグッズなどを販売する「大ツキ軽トラ市」が初開催された。

このイベントは、大月駅周辺整備事業(南側)が平成24年3月に完了予定であり、これを一つの契機として中心市街地に活気を取り戻し、賑わいのある街として再生していくため、大月商店街協同組合(小俣孝理事長)の組合員などで構成する「にぎわいづくり社会実験実行委員会(小俣孝委員長)が展開している大月市賑わいづくり社会実験事業の一環として、市民や大月短大などの協力を得ながら実施された。

同事業では、駅前を中心とした賑わいづくりとして、大ツキタやけ市の開催、大ツキメニューの開発と大月うみやーもんフェアの開催、大月情報Q&A冊子の作成、街歩き・山歩きマップの作成などを行っている。また、商店街を中心とした賑わいづくりとしては、おもてなしステッカーの作成・掲示、おもてなしベンチの設置、大月ブランド・大月グッズの開発と販売、パワースポットとしての「5神社めぐり」、大月軽トラ市などを行っている。

軽トラ市に合わせて20日から11月2日まで、同市出身の落語家三遊亭小遊三さんの写真展「小遊三展」が展示施設「まち宿り」で開催される他、22日には、「大月阿波踊り」の群舞、ご当地ヒーローである「LUCKY戦隊ツキレンジャー」の



ショー、餅つき大会、二胡演奏など「つき」にまつわる様々な催しが行われた。また、街なかの魅力の再発見と回遊性向上のため、「大月散策ラッキーマップ」を配布するとともに隠れた見所の整備を進めている。